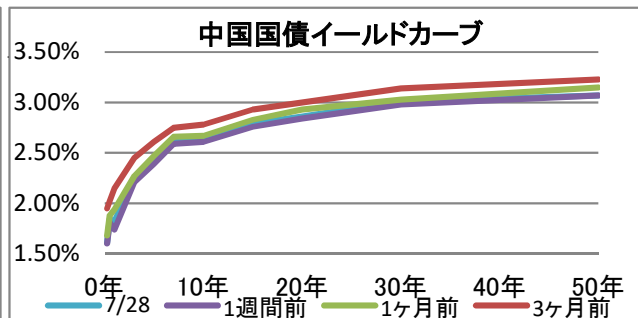
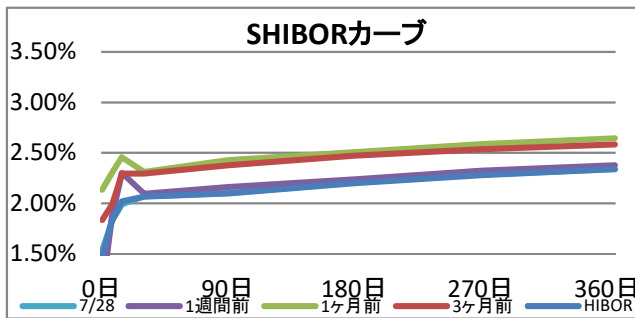


基準レート		2023/7/28	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	7.1338	-0.0118
	JPY/CNY	5.1491	+0.0092
SHIBOR	3M	2.0980%	-0.0020%
国債利回り	10年	2.66%	+0.04%
上海総合指数		3,275.93	+108.18



(1) 概況

国際金融市場では、欧米の金融政策が予想通りの結果となる中、FRB議長の記者会見を受けて利上げ長期化への警戒感が薄れて株価は続伸し、米GDP等の経済指標が市場予想を上回ると債券利回りは上昇に転じている。為替市場では、上記経済指標を受けてドル高になる転じる局面もあったが、総じてレンジ内の小動きに終始し、円相場も日銀のYCCの運用柔軟化により一時的に円高が進んだ後に141円台に戻す行ってこいの展開となった。

中国金融市場では、本年下期の経済運営方針を決める中国共産党政治局会議が開催され、内需拡大や不動産政策の改善、地方政府債務の削減の方針が示され、各部門が政策発動に向けた動きを活発化させていることから、金融や不動産を中心に株価は上昇し、債券利回りも上昇。為替市場では、景気支援策への期待と海外からの資金流入等もあって元高が進行する場面もあったが、ドルが買い戻されて元の上昇幅は限定的となっている。

中国では、週初に開催された中央政治局会議で、本年下期の経済運営方針として内需拡大や不動産政策改善方針等が示され、証監会は、同会議を受けて資本市場活性化策を検討。中国政府は、人民銀行行長に潘功勝人民銀行党委書記を任命し、人民銀行副総裁は、國務院の記者会見で科学技術イノベーション分野に対し金融面で更なる支援を行うと強調し、国家金融監督管理総局は、家計の消費支出や教育、文化等の重点分野へのサービス支出に対する金融サポート強化方針を示し、金融機関に対するオペレーショナルリスク管理強化を求める法令のパブコメ募集を開始。上海清算所は、商品取引のデジタル人民元による清算業務を開始。この間、6月の海外投資家による中国債券保有高は、2か月連続の増加となった。また、国際関係ではフランスと金融経済ハイレベル対話を開催し、広範な協力関係構築について確認し、香港金融管理局(HKMA)はサウジアラビアと金融協力に関する覚書に調印している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1120億元に対して、リバースオペ3410億元、中央国庫定期預金600億元を実施し、ネット2890億元を供給。

(3) 主な経済指標

・工業企業利益(1-6月)は前年同期比-16.8%(1-5月-18.8%)と大幅減益ながら、減益幅は縮小。電力、熱力等(+34.1%、同+34.8%)は高い伸びを維持し、製造業では、EV販売等が好調な自動車や新工機製品を中心とする電機が高伸を維持する中、大幅な減益が続く素材関係やPC・通信等電子設備関係でも減益幅が縮小したことから、これらを含む製造業(-20.0%、同-23.7%)は減益幅を縮小。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4730%	1.7700%	1.1000%	
1W	1.8260%	1.5000%	1.8000%	
2W	2.0180%	2.1000%	2.1000%	1.9000%
1M	2.0660%	2.3000%	3.8000%	1.8500%
3M	2.0980%	4.3500%	2.2000%	2.0600%
6M	2.1990%	3.7000%	2.5000%	2.1900%
9M	2.2800%	3.7000%		2.2700%
12M	2.3370%	2.3370%		2.3200%

月末に向けてやや上昇する気配も見られたものの、金利水準は概ね低位で安定している。ターム物の出合いは、1ヶ月の2.1%前後での取引が中心。

NCDの金利水準も安定しており、ターム物は、1ヶ月が1.90%前後、3ヶ月が2.05%前後、6ヶ月が2.1%台後半、1年が2.3%台で取引されている。

(2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	5.35%	5.36%
1W	5.40%	5.45%
1M	5.50%	5.55%
3M	5.70%	5.75%
6M	5.75%	5.80%
12M	5.75%	5.85%

FRBの利上げ後も中国国内市場のビッド仕かりの状況に変化はないが、ターム物は、1ヶ月が5.5%台後半、3ヶ月が5.7%前後で取引引きされている。

③ 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.61%		2.07%	2.18%	2.34%
6M	1.84%		2.20%	2.28%	2.44%
1Y	1.82%	2.02%	2.35%	2.41%	2.61%
3Y	2.24%	2.35%	2.65%	2.73%	3.37%
5Y	2.44%	2.57%	2.78%	3.03%	3.75%
10Y	2.66%	2.85%	3.02%	3.27%	4.06%

米国債券市場では、FRBが予想通り利上げを行い、その後のGDPや新規失業保険申請者数等の堅調な経済指標を受けて利回りが上昇に転じたものの、PCE物価指数の伸びが鈍化したこともあり、上昇幅はやや縮小している。中国債券市場では、景気刺激策実施に伴う増発懸念を主因に利回りは上昇に転じている。この結果、米国の10年国債利回りは3.95%（前週比+12bp）、10年中国国債利回りは2.66%（同、+5bp）に上昇し、利回り差は+129bp（同+7bp）と拡大を続けている。

中国債券のイールドカーブは、利率債が中期を中心に上昇に転じており、長めの期間でフラットニングしている。クレジットスプレッドも、利率債利回りの上昇により、縮小に転じている。

④ 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-229.0 / -226.0
3M	-689.0 / -686.0
6M	-1353.0 / -1349.0
9M	-1968.0 / -1963.0
12M	-2439.0 / -2437.0

対ドル基準レートは7.1338と前週末比-118pipsのドル安元高、対円基準レートは5.1491と同+92pipsの円高元安と、元高水準での設定が維持されている。中国国内市場では、元安水準で始まったものの、人民銀行の基準レート元高設定が続いていることや景気刺激策への期待により7.12台まで元が買い戻されたものの、下値ではドル買いが入り7.16台に戻して週末を迎えている。

先物は、直物市場がレンジ取引となったことや、FRBが予想通り+25bpの利上げを実施し、市場参加者の金利差の先行き見通しについても大きな影響がなかったことから、スワップのマイナス幅の変動も限定的で、1年物は先週同様に-2400台での取引が続いた。

⑤ 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.96%		1.59%
6M	1.99%	2.14%	1.51%
9M	2.01%	2.18%	1.51%
1Y	2.04%	2.21%	1.70%
3Y	2.28%	2.49%	1.98%
5Y	2.51%	2.80%	
7Y	2.63%	2.95%	
10Y	2.75%	3.05%	

スワップ金利は、利率債利回りの上昇を受けて小幅上昇に転じている。債券利回りとの差であるスワップスプレッドは前週同様に小幅な拡大が続いている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。